

平成31年度予算を可決

3月議会では、一般会計（210億5,000万円）、国民健康保険・介護保険などの特別会計、上下水道・病院などの企業会計を含む、総額453億2,144万5,000円の平成31年度予算案が提案されました。

一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は建設経済厚生常任委員会において、5日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり可決しています。

予算決算常任委員会 (総務分科会・建設経済厚生分科会)

一般会計の平成31年度予算案と平成30年度補正予算案は予算決算常任委員会に付託した後、全体会で、総務、建設経済厚生の各分科会へ所管する事項を分担し審議を行いました。主な審議内容は以下のとおりです。（補正予算案の審議は5ページに掲載）

一般会計

交付金

問 ひょうご地域創生交付金について、平成31年度に申請を予定している事業は。また、この交付金は毎年度、事業が変わっても認められるのか。

答 高速泉バス停の整備や通学定期券購入補助、こども園の造成の一部を考えています。なお、この交付金については、地方創生に資する新規事業及び拡充事業が対象となっており、複数年の事業、単年度の事業いずれも対象となります。

税

問 新しく創設された、森林環境譲与税について。



答 管理の行き届かない森林について、山林の所有者と森林組合との森林整備委託を市が仲介し、適切な経営を行えるようにするための費用に充てるものです。

北条鉄道

問 北条鉄道交差施設整備事業について、事業費1億5,000万円のうち、財源として企業版ふるさと納税が5,000万円であるが、寄附していただいた会社へのメリットがないと、決断しにくいと考えるが、市として何か検討されているのか。

答 制度としてメリットの付与が認められておらず、寄附をいただいた企業名を公表することで、CS（顧客満足）活動につなげていただくことが考えられます。

観光

問 観光まちづくり協会組織強化事業について、法人化するための手続を行っていくのか。

答 鵜野飛行場跡地に建設される地域活性化拠点施設へ観光まちづくり協会が入ることを見据え、法人化を目指すことを考えています。また、法人化に向けた会計ソフトの導入や職員研修、先進地への視察などを行うとともに、法人化への体制づくりについてコンサルティングしてもらうなど、観光まちづくり協会の総合的な組織体制の強化を図っていきたいと考えています。

消防団訓練場所

問 鵜野飛行場跡地整備事業の消防団訓練場所の整備について、戦争の記憶を後世に伝えるという視点から、今ある滑走路を含め、戦争遺産の雰囲気は壊れないような整備は考えられているか。

答 舗装については、滑走路との調和を考えた上で、検討したいと考えています。

健康

問 運動ポイント事業が、スマートフォンを活用する方法に変更となることで、スマートフォンの購入や操作ができない人はポイントが付与されないなど、参加できないことになるのではないかと。

答 スマートフォンへの切り替えや、ポイントはつきませんが活動量計を使い歩数管理ができること等を丁寧に説明していきます。またこの事業は、ポイントの付与が目的ではなく、ポイントというインセンティブを契機に歩くことや出かけること、交流することにより健康寿命を延ばすことを目的として実施していきます。

介護

問 介護人材確保事業について、外国人を介護職場の担い手としていくための取り組みは。

答 国の制度で介護専門学校や日本語学校へ通うための奨学金制度がありますが、通学に時間がかかるという課題があり、市内において日本語学校等の授業ができるかどうか、関係部署とも連携し検討しています。